

平成29年度 第3回「ともに考えよう まちづくりミーティング」

平成29年9月24日（日）14時00分～

駅西福祉健康センター 駅西健康ホール

諸江、浅野川、鞍月（校下、地区）

(1) 市長あいさつ

【山野金沢市長】

本日は日曜日、しかもお昼の時間にもかかわらずたくさんの方にお越しいただきまして、心から感謝を申し上げます。

本日は、諸江・浅野川・鞍月校下、地区の皆さん方にお集まりいただきました。この地域は金沢の副都心といたしまして、直江・大河端土地区画整理事業が伸展中でありまして、海側幹線、北陸鉄道浅野川線など交通の要衝の地でもあります。

ただ、一方では、この7月、8月でも幾つか道路での冠水があったということもお聞きしています。低地による水害に悩まされてきたところで、これは県、市ともにさまざまな手だてをとってきているところではありますが、改めてそのことについての意見交換もさせていただければと思っています。限られた時間ではありますけれども、忌憚のないご意見をお聞かせいただければと思います。

どうぞよろしく願いいたします。

(2) 地域代表あいさつ

【鞍月校下町会連合会 会長 西野氏】

どうも皆さん、こんにちは。ただいまご紹介いただきました鞍月校下の西野でございます。どうぞよろしく願いいたします。

皆さん方には、連休中の本当にお忙しい中、「ともに考えよう まちづくりミーティング」ということで、貴重な時間帯にご参集賜りました。誠にありがとうございます。

また、地域からは町会の役員の皆さん方、そして公民館の館長さんを初め、婦人会の方々もお見えになっていらっしゃいます。まず、地域のあり方、それから安全、安心を真剣に考えていただいた上で、こうして関心を持ってお集まりいただきましたことに対して、心から重ねて厚く御礼申し上げたいと思います。

さて、このまちづくりミーティングは市内全ての校下で、あるいは地区で行われています。4年に1回ということですが、こうして3校下ぐらいの単位で分けて開催していただいています。前回、私ども3校下は4年前、平成25年に同じこの場所で開催をしていただきました。それからもう4年が経つわけですが、その間、地域で大きく変わったことの一つといたしまして、平成27年2月、海側幹線の3期区間、すなわち鞍月から大河端までの2.4kmが全線4車線化の完成、供用を開始したことでございます。海側幹線の供用開始によりまして、直江町や大河端町周辺の開発が進み、まちの様子が一変したように思われます。

これからも、私ども鞍月校下、そして浅野川校下、諸江地区の3校下、地区はまだまだ進歩、発展が見込まれる地域でございます。先ほど市長さんのご挨拶にもあったとおり、副都心の位置づけということで、これからさらに変化を遂げる、そういう地域と考えています。

しかしながら、私どもの校下、地区の一部は比較的海抜が低く、浅野川、大野川、それから弓取川に隣接しており、市内でも水害のおそれのある地域の一つであるという大きな課題がございます。

実は、4年前のまちづくりミーティングにおいても、治水対策を課題として上程させていただきました。市当局におかれましては、今年3月、鞍月小学校敷地内に雨水貯留槽の設置もしていただきました。現実、私の自宅が鞍月用水に隣接してまして、以前の雨と今の現況の雨量状況を見ていますと、やっぱり鞍月用水は水かさが上がりません。そして、ぐっと上がったと思うと引いてしまうという現象を見ていますと、やはり貯留槽の効果があるということを実感しているところでもございます。

さまざまな治水対策を実施していただいているところではありますが、最近では、先週も台風が列島を縦断いたしました。特に局地的な豪雨や降水時間が長期化するケースが増えているため、大規模水害が発生する可能性は高まっていると考えていますし、それから、恐怖を感じているところでもございます。

そのために、今回も地域の重点課題と位置づけ、3校下、地区の共通課題として治水対策を取り上げさせていただきました。ともに一緒になって考え、相互の認識を深める良い機会にしようということでございますので、本日お集まりの皆さんから多くのご意見、それからご質問をいただき、地域における治水対策を初めとして私たちが日々生活する中でさまざまな課題を篤と市長にご理解いただける活発な議論をお願いしたいと考え

ているところでもございます。

本日は、限られた時間ではありますが、このミーティングが単なるセレモニーに終わらず、お集まりいただいた皆さんが納得できるような回答をいただき、地域の課題解決のための糸口となるような、有意義で、そして実り多いまちづくりミーティングになりますことを切にご祈念申し上げまして、粗辞ながらご挨拶に代えたいと思います。

本日はどうぞよろしく願いいたします。

(3) 地域課題の説明、課題に対する市の方針等の説明、討議

①地域安心生活支え合い事業の取り組みについて（諸江地区）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

②「諸江向栗崎線」の交通渋滞緩和について（浅野川校下）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

【浅野川校下町会連合会】

海側幹線が福久まで通ったとしても、金沢の中心部からのと里山海道を通るのは諸江向栗崎線が一番便利。海側幹線が完成してもあその交通量が減るとは私たちも考えていません。それと、駐停車禁止の表示をしたら後ろが長くなるということですがけれども、住民にとっては、道路に出られるのが第一目標でありますので、多少渋滞がなくなっても住民の生活ができませんので、その辺も含めて考えていただきたい。

【磯部土木局長】

ご指摘の点ですが、おっしゃったとおり放射状道路といいますのは、最も短い距離で中心市街地に行きますので、そこに環状道路ができたからといって、先ほどの右折の矢印を出してもなかなか通ってくれない。ただ、交通というのは繋がってしまっていて、学習効果として、今度は能登方面から来て左折ができるようになる。そうすると、東山内灘線まで行けば、仮にトータル的には短くなるということがあれば、一定の量はそちらに回っていただけるといふこともありますので、大きなくくりでいうと、やはり放射状道路と環状道路

をあわせて交通の分散化を図ることによって、一定の部分は緩和にはなるとは考えています。

左右の脇道からスムーズに中心方面に出るという対策につきましては、ご指摘の点は、地元に住んでいる皆さんにとっては本当に切実な問題だと思っておりますので、どのような方法が現実的に対応可能かは、道路管理者として警察等と引き続き協議してまいります。

③鞍月校下（近岡町、御供田町、直江町地域）の治水対策について（鞍月校下）
「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、
レジュメを参考願います。

【鞍月校下町会連合会】

今のお話の中で、近岡というのが鞍月用水の一番下の部類になる。それで、私どもずっと、十数年前ぐらいから内水整備課のご協力を得まして、いろんな対策を市からとってもらってきている。それで、今回の貯水施設に関しましても、本当にすごく期待していた。

ただ、先ほど局長がおっしゃったように、60mmという降雨に対しては、ある程度の効果は得られたと思うが、全体的に、やはり近岡町内としましては、今までよりも若干下がったものの依然として冠水しているところが町内の3分の1ぐらいある。それで、いろいろ調べた結果、3本の支流があったのが、今は五郎島橋のそばと、コンテナ基地の2カ所で内水を大野川へ排出している状況である。そのうちの五郎島橋の近くのほうがフロートで外水を遮断するようにはなっている。それで、内水の水位が高くなると、そのフロートが倒れて内水を大野川に出している状況ですが、現在、大野川の潮位も1.16m、近岡町の会館のところで海拔1.5m、その差、30cmぐらいです。そこへ雨が集中して降ってきますと、どうしても冠水するのはもう仕方ないことですが、これに関しても大野川への排水水路がこの2本しかないというのが一番ネックになっているというのが現状です。内水は市ですが、コンテナ基地等は県なので、そこを市と県とでいろんな調整をとっていただいた上で、私らの希望とすれば貯留施設もいいが、強制的に内水を大野川に排水するという施設を考えていただけないものか。もしできることなら検討していただきたいと思っております。

【鞍月校下町会連合会】

もう少し補足をさせていただきます。今、全市の中で近岡町地区が一番沈下率の高いと

ころです。恐らく関係者のご当局はわかっていると思う。わかりやすく言いますと鍋底、すり鉢の底状態が町内の敷地だと考えてください。上から流れてくる雨水は、確かに、貯留槽である程度食いとめることはできる。ただし、集中豪雨になりますと、その鍋底にたまった水がはけ切らないという現象を起こしている。

なぜ、近岡町の沈下率が高かったのかということで、過去に戻しますと、井戸水です。井戸水を無尽蔵に汲み上げた、そのツゲがここに回ってきているということを考えますと、多少は行政の責任もあるのではないかという感じがしています。

したがって、もう少し強力なポンプの設置、大きいものを新設していただくか、あるいは増設するかをしないと、常に降った雨が貯まっているというのを毎回起こしている。その辺を行政は真剣に考えていただきたいと思いますので、その点は、局長に今後の対策をお願いしたいと思います。

【磯部土木局長】

ただいまの点につきまして、これまでの何点かのお話を総合しますと、行政では確かにいろんな対策はとらせていただいているものの、一方で、今のお話にありましたように地盤の沈下が続いている。これに関しては、地下水汲み上げの抑制の条例も作りまして、冬季間の井戸、消雪井戸のための施策もとらせていただいた結果、少し落ちついてきている面もあると認識していますが、それでも止まっていないと。地盤は下がり傾向にあるし、潮位も地球温暖化の影響などで以前よりも増えてきている。そこへこれまで想定していなかった時間50mmを超えるような雨が降ってくる状況になってきている。やはりこれは目先の当面の対応はするとしても、根本的な対策が必要だということですが、先ほどの方のお話にありましたように、今の近岡町の水の状況からすると、一旦松任宇ノ気線の横の水路に集まって、そこから先、大野川まで吐くところが限られていて、今そこに排水機場があって、それを市で用意した仮設のポンプで何とか補っているという形があると思います。

やはり根本的な対応になりますと、県の立場からすると、内水、外水でいうと、河川の本体は外水になります。市になりますと、地域の中を流れる内水になります。それはしっかり連携をとって、どの部分にどんな対応をするのが今の状況からしたら効果的なのかということを検証した上で、県と連携して根本対策は検討していきたい。ただ、それには来年いきなり全てが改善できるということでもありませんので、やはり、いつ大雨になるかわからない状況もありますので、本当にこれは原始的かもしれませんが、明日、あさって

台風が来るとか、線状降水帯が来るとい状況になりましたら、土のうというのは原始的ですけれども、具体的にはすごく効果がありますし、この夏の何回かの大雨でも事前に心配なところは近岡町の会館に土のうをあらかじめ設置させていただくなど、そういうことを事前の準備としてしっかりやっていきたい。

冠水はなかなか100%防ぐことができませんので、やはり甚大な被害、人的被害、経済的な損失等になりますと、必要なところはいち早く通行止め措置をするなど、万全を期してまいりたい。それから、将来的な抜本対策を県と連携して検討していくとともに、当面の対策は事前の準備を万端にして取り組んでまいりたい。

【鞍月校下町会連合会】

お願いいたします。

【山野金沢市長】

先ほど鞍月の小学校の地下、一定の効果があったということは申し上げましたが、私も実感している。あれだけ大規模なものはすぐにはできないかもしれませんが、引き続き対応をしていきたい、これは比較的近い距離での対応策になります。

長期的なことは、県との対応ということですので、ここは実務的なことは局長、課長にしっかり対応していただきますけれども、私でも今一度整理をして、知事や副知事に機会をとらまえて、ゆっくりとお話しさせていただきたい。

【鞍月校下町会連合会】

今年の雨も去年の雨も近岡町の浸水については実態を見ていないのですけれども、南新保に住んでいると、雨が少し強いなと思う程度で、前の用水を見ても全然水位が上がっていない。その程度の雨でも近岡町では、翌朝聞くと浸水があったと。毎回のようにあるので、これは根本的な解決策も当然必要ですけれども、時間もかかるし、資金もかかりますので、やはり、土のうを積むという即効性、緊急性の手段もあるが、土のうも降ってから、降りそうだといって対応するのでかなり地元の労力、心配もあるかと思うので、できれば浸水する箇所だけでも用水の擁壁のかさ上げ工事を早急にやっていただけると非常に即効性があるのではないかなと。根本的なものとは違って費用も比較的安く、効果の持続性も上がり、即効性もあると思うので、そういう点もご検討いただけたらと思います。

【磯部土木部長】

ご指摘いただきました点ですけれども、過去にやはり頻繁に浸水被害を受けるような所は根本的な原因が何にあるのかということも調査した上で、ご指摘の点も含めて対策を検討させていただきたい。

それまでの間は、過去の履歴があるような所は、やはり土のうをあらかじめ、早目に配備する等で対応させていただきたい。

(4) 共通課題についての討議

① 抜本的な水害対策の実施について

「共通課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

【浅野川校下連合会】

いろいろ市で対策はとっていただいていますし、感謝していますが、近岡からもあったように、それでも冠水するという事になっていまして、多分、市の皆様はご存じだと思いますが、大野川の水位が高く、特に浅野川校下の大野川に面している所は、大体50cmぐらい大野川が高いです。こちらが高くなることはありません。基本的にはポンプを使わないと排水ができない状態が一年中続いています。それで、基本的には自然排水しませんので、雨が降ったら流れる所がなく、先ほどおっしゃったようにすり鉢状になっているので、私が考えるには、やっぱりポンプで排水するしかないのではないかと考えています。ただ、ポンプをそこら中につけるのも大変なお金がかかるし、ひょっとしたら市の仕事じゃないのかもしれませんが、少なくとも住民があと何年待てばよいのか。たとえば、今年は鞍月校下をやる、来年は浅野川校下をやる。隣の大浦も多分同じ状況だと思いますので、その次の年は大浦校下をやるとか、少し先の見えた、何年待てばこういう水害の心配をしなくていい土地になるのか、その辺の計画を示していただかないと、いろいろやっても、結果降れば冠水することはわかっていますので、ぜひその辺の先の見える、いつまで待てばこういう暮らしの不安が消えるのかということをご検討していただきたい。

それと、我々の地区は用水が流れていまして、冠水すると道路と用水の区別がつかなくなり、通学路でもありますので非常に危険な状態です。ある程度防護柵みたいなものでは

きているのですが、できていない所もありますので、その都度、棒を立てて、赤札を立てて危険の防止等に努めているが、もう少し市でも安全という面も含めて対策をとっていたらと思っております。

【磯部土木局長】

まず、後者について、冠水すると道路と側溝、水路と区別がつかずに、たとえば夜暗い時だと非常に危ない。そういう所については、本当に緊急性の高い所から順次、できるだけ速やかに必要な手だてを講じてまいりたい。過去に被害履歴のあったところを中心に考えたいと思いますので、また情報を共有させていただいて、速やかな対応に努めてまいりたい。

それから、ポンプ等で抜本対策をしないと解消しないということですが、では、何mmの対応だったら絶対間違いないかというと、これは現実的に、今でいいますと80mmが全国でも、この間の大雨でも九州で110mmとかありました。100年に1回の確率ってすごいと思うのですけれども、実際は80mmで100年に1回です。これだけのポンプをつけたらもう絶対大丈夫です、という対応というのは、現実的にはやはり困難だと思っております。今、臨機応変に、仮設のポンプを複数台用意させていただいて、現実的な対応として効果の高い所を今考えたいと思いますので、そこら辺はどうしてもご理解いただきたい。

これだけの整備水準でしたら絶対大丈夫だというのが、これは全国一律の問題でもありますが、その部分は仮設のポンプを複数台状況に応じてという対応で当面はしのぎたい。

②高齢者の通院や買い物などの交通手段の確保について

「共通課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、

レジュメを参考願います。

【浅野川校下町会連合会】

大浦とか川北地区でバスを運行しているのは知っていますが、我々の提案はもっとさらに踏み込んで、たとえば、病院はなかなか個人の事情があつて難しいと思うが、買い物だけならジャンボタクシーを町会に回して、本当にタクシー代わりに市の車が走って買い物に行けるというようなところを目指してしまして、今、諸江からありましたように、交通機関は確かに浅野川線などありますが、そこへ行くにも距離があります。それから、大浦

のような方式だと、バス停まで行くのにもある程度歩かないといけないこととなりますので、ぜひ町内を回る買い物の交通手段として、ジャンボタクシーぐらいだったら、何も対策もなくて、極端なことを言えば、お金だけ出せば要員も雇わなくていいし、保険とかいろいろ、運転手の確保も要らないと思いますので、ぜひそういう交通システムを全国に先駆けて、さすが金沢だというような、市民が安心して買い物できるというようなまちにしていきたいと思います。

【久保交通政策部長】

いただきました意見のとおり、こちらもいろいろこの制度、知恵を出し合いながら柔軟に対応できる制度になっていますので、お互い話し合っていければと考えています。

また、参考ですけれども、今、国も来年度の予算概算要求で、タクシーの実証実験ということで、タクシーはどうしても金額が高いという不安があるので、よく行く場所については、定期券みたいなものを導入できないかということ、来年度予算で盛り込んでいるところです。現時点において、実はタクシーの定期券というのは実現が難しく、なかなか作れないところがありますので、国の動きも踏まえながら、便利な交通手段にどのようなものがあるかを市としても研究させていただきたい。

(5) 市長まとめ

【山野金沢市長】

ご多用なところ、本当にありがとうございます。忌憚のないご意見も幾つもいただきました。

諸江地区、これは先ほど私が言ったことの重複になりますが、これからの福祉施策で地域の皆さんと一緒に取り組んでいく、私はモデルケースに十分なり得るご提案をいただいていると思っていますので、引き続き連携を密にしながら課題に向けて取り組んでいくことができるとしています。

浅野川、鞍月校下につきましては、前回もやはりこのテーマでいろいろご意見をいただきました。鞍月小学校の地下に大規模な貯留池ができたことによって、大きく変わる可能性があるとは思っていましたが、60mm、70mmの雨、しかも短時間の雨ということもありまして、まだまだ課題が十分解決できていないということも認識させていただきました。ただ、そうはいつでも、長いスパンで取り組んでいかなければならないこと、短いスパンで

我々行政として責任を持ってやっていくべきこと、また地域の皆さんのお力をお借りして取り組んでいかなければいけないこと、そんな意見も今日幾つも出たかと思えます。また、国、県との連携についてもご指摘をいただいたところでもありますので、そこにつきましてもしっかりと対応していくことによって、相手が自然ですので、これで完璧ということはないかもしれませんが、少しでも安心して生活いただける、万が一のことがあったとしても、大きな被害にならないような対応をしっかりと取り組んでいきたい、いかなければいけないということを改めて強く思いました。引き続き、連携を密にしながら取り組んでいければと思っています。

いろんなご意見、今日はなかなか発言できなかった、まだまだ言いたいことがある、たくさんの方の前だから言いづらいということもあったかもしれませんが、アンケートで書いていただくなり、また、お手紙やメール等々でいただければ、それについてもしっかりとお答えさせていただきたい。

本日はご多用なところ、本当にたくさんの方にお集まりいただきまして、改めて感謝申し上げます。

ありがとうございました。